

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大分県歯科技術専門学校
設置者名	学校法人 溝部学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
	歯科技工科	夜・通信	70単位	6単位	
	歯科衛生科	夜・通信	108単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (実務経験のある教員等による授業科目)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大分県歯科技術専門学校
設置者名	学校法人 溝部学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (学外理事名簿)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	平松ラジオ社長	2020.5.28～ 2022.5.27	「労務」
非常勤	(元) ひめやま幼稚園 園長	2020.5.28～ 2022.5.27	「組織運営体制へ のチェック機能」
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大分県歯科技術専門学校
設置者名	学校法人 溝部学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>歯科衛生科は、2006年度入学者より大綱化、単位制への変更を行い、授業計画を作成している。歯科技工科は、2019年度入学者より大綱化、単位制への変更に伴い、昨年度実績を基に各教科の学科および実習の内容と目標を検討し、必要単位数を考慮しながら授業計画(シラバス)を作成している。</p> <p>両科とも年度末(3月)に各教科担当者の意見を基に作成し、4月に公表する。シラバスの記載項目としては、分野、教科目、授業形式、単位(時間)数、開講時期、担当者(実務経験の有無)、授業目標、参考文献、単位判定基準である。ホームページにて公表</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (シラバス)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>1. 成績評価方法</p> <p>科目の成績は、定期試験及び臨時試験による筆記試験のほか実験実習、レポートその他、及び、平常の成績を総合して評定する。</p> <p>2. 成績評価判定</p> <p>前項の成績は、100点満点とし、60点未満を不合格とし、下記の標語で判定するものとする。</p> <p>学科</p> <p>秀(100点～90点) 優(89点～80点) 良(79点～70点)</p> <p>可(69点～60点) 不可(59点以下)</p> <p>実技(歯科技工科)</p> <p>70点未満を不合格とする</p> <p>秀(85点以上) 優(80～84点) 良(75～79点) 可(70～74点)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>すべての授業科目について100点満点に換算し、履修すべき授業科目全体の平均点を個人ごとに算出して、学期を通しての成績評価とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (成績評価)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学校の教育理念 社会の役に立つ技能・技術を身につける専門知識と教養を深める人間性を磨く</p> <p>1. 卒業に必要な単位数を取得していること。 2. 学費をすべて納入していること。 年間の学科、実技の成績および卒業認定試験の結果をもとに卒業判定会議を行い、最終的に校長が判断する。模擬試験や個別指導など成績向上に向けて対応している。</p> <p>学生便覧にて卒業条件を記載しており、卒業が認められない場合は、保護者同伴のうえ伝達する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (卒業認定)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大分県歯科技術専門学校
設置者名	学校法人 溝部学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp
財産目録	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp
事業報告書	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp
監事による監査報告（書）	ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報（歯科衛生科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	歯科衛生科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2768時間／113単位 単位時間／単位	1458時間 /80単位 単位時間 /単位	75時間 /5単位 単位時間 /単位	1235時間 /28単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		61人	0人	4人	26人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 大綱化、単位制に必要な各教科の単位を基に3学年に振り分けている。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期末・後期末試験を実施し、60点以上を合格とする。 合格点に満たない者は再試験を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：前期末・後期末試験の成績を基に進級判定会議を行う。 卒業：年間の学科、実技の成績を基に卒業判定会議を行い、校長の決定による。
学修支援等
（概要） 学科、実技で遅れている学生には放課後や長期休暇を利用して対応する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (%)	19人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 見学等の設定、個人面談、履歴書の指導添削、入社試験の日程調整、設定			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家資格・専門士 介護職員初任者研修修了 初級手話講座修了認定 医療秘書実務士認定 介護保険実務士認定 上級救急救命講座修了			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	1人	1.6%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 声掛け、状況によっては保護者同伴による面談		

① 学科等の情報（歯科技工科）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療分野	専門課程	歯科技工科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	1744時間/70単位 単位時間/単位	496時間 31単位 単位時間/単位	1248時間 39単位 単位時間/単位	単位時間/単位 単位時間/単位
		単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70人	28人	0人	4人	12人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>大綱化、単位制に必要な各教科の単位を基に1学年、2学年に振り分けている。 1年次は主に学科を中心とし、専任および兼任講師によって各教科担当制にて実施。実技実習は教科書に沿った基礎的なものとする。 2年次の学科は国家試験対策を主とし、実技実習は高度で応用的なものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>前期末・後期末試験を実施し、学科は60点、実技は70点を合格とする。 合格点に満たない者は再試験を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級：前期末・後期末試験の成績を基に進級判定会議を行う。 卒業：年間の学科、実技の成績を基に卒業判定会議を行い、校長の決定による。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学科、実技で遅れている学生には放課後や長期休暇を利用して対応する。 2年次は各教科担当教員が国家試験対策授業や数多く模試問題を作成し対応する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	0人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>歯科技工所、歯科医院</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>見学等の設定、個人面談、履歴書の指導添削、入社試験の日程調整、設定</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>歯科技工士国家資格・専門士</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.5%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>成績不振、進路変更など</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>声掛け、状況によっては保護者同伴による面談</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	実験実習費	備考 (任意記載事項)
歯科衛生科	230,000 円	490,000 円	190,000 円	
歯科技工科	550,000 円	650,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
歯科育英会奨学金 (歯科衛生科) 歯科技工士育成会奨学金 (歯科技工科) 特別奨学金・後援会給付金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (自己点検・評価)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに 10 基準 30 項目で、本校教職員と事務局で自己点検・評価結果を実施する。学校関係者評価は、歯科衛生科に関する歯科医師と歯科技工士の就職先社長でもある本校卒業生の 2 名であり、自己評価を客観的に判断して意見をいただくことにより、教育活動や学校運営をより良いものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科育英会 (別府市歯科医師会) (歯科医師)	2 年	企業等委員
歯科技工士育成会 (歯科技工士)	2 年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp (学校関係者評価)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ www.mizobe-odtc.ac.jp
--